

1. R7年度学校経営目標

* 「相寄りて」 ～チーム高根中、生徒が輝く学校づくり～

- ・一人一人の個性を伸ばし、互いのよさを認め合う生徒の育成
- ・仲間と協働し、様々な課題を解決できる生徒の育成
- ・仲間との絆づくりや心の居場所がある学級・学年・集団づくり

2. R7年度学校経営の具体的方針

(1) よく学ぶ生徒

- ①基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を目指すと同時に、生徒を主体とした「主体的・対話的な学び」を実現する授業実践を行う。
- ②ICTを有効に活用し、一人一台端末を適切かつ主体的に活用できる個別最適な学習活動を工夫する。
- ③「やまなしスタンダード」による学習規律の確立を目指す。
- ④授業と家庭学習の繋がりをつくり、家庭学習の一層の充実を図る。
- ⑤「原っぱ教育」を位置づけた教育課程を地域・社会に発信・共有していく。

(2) 豊かな心と思いやりをもつ生徒

- ①道徳教育を充実させ、教育活動全体を通して、「思いやりの心」・「命」を大切にする「真心」の教育を進める。
- ②「朝読書」「朝合唱」「朝学習」等による落ち着いた学校生活を構築する。
- ③学校行事や諸活動（生徒会、学級、合唱、部活動等）を通して、生徒の居場所づくりに努め、自己肯定感、自己有用感を育む。
- ④読書活動や文化芸術活動にふれる機会を通して、情操豊かな教育を推進していく。
- ⑤保護者や地域と協力して、勤労・福祉・ボランティア活動等の充実に努め、共生する心を養い、地域に貢献する生徒を育成する。

(3) 心身ともに健康でたくましく、少々の困難にも打ち克つことのできる生徒

- ①健康3原則(栄養、睡眠、運動)を推進し、望ましい生活習慣の確立に努める。
- ②体育的行事や部活動等を通して心身を鍛え、最後までやりぬく、しなやかな心を育てる。
- ③「自助・共助」の精神を培い、安全についての実践的な能力や態度を育てる。
- ④登下校の安全確保、防犯に関する対応指導、防災教育の充実、危機管理マニュアルの随時更新と徹底により、安全・安心な学校づくりを推進する。
- ⑤小中連絡会等を活用し、小中連携による合同引き渡し訓練等の安全教育の連携に努める。

(4) 愛情と信頼、生徒理解に基づく生徒指導

- ①「いじめ防止」「不登校対策」に努め、生徒が発する兆候を見逃さないように、日頃から情報交換を行い、問題の未然防止、早期発見・早期対応に心がける。
- ②様々なアンケート調査、Q U調査などを活かし、生徒に寄り添った指導を行う。
- ③生徒が自己存在感や充実感・成就感を味わえるような集団づくり、授業づくりに努める。
- ④校内支援教室「ひまわり」を効果的に活用し、生徒の居場所づくりを大切にされた教育を進める。
- ⑤特別支援教育を推進し、生徒一人一人の個性を大切にしながら、実態を踏まえた教育活動を展開していく。

(5) 信頼される学校づくり

- ①家庭・地区小学校・地域・関係機関との密接な協力体制を確立して、高根中教育を推進する。
- ②ホームページや学校だより、その他各種通信を通して情報を積極的に発信し、保護者や地域に対して学校教育活動への理解に努める。
- ③授業参観や学校開放日と学校行事を関連させ、来校しやすい学校に努める。
- ④「原っぱ教育」の理念の実現を目指し、地域に根ざした教育活動を実践する。
- ⑤PDCAによる学校評価を生かした教育活動の組織的・継続的な学校改善に努めると同時に、地域に根ざした学校運営（高根地区小・中学校運営協議会との連携）を推進する。